

平成29年度 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 工学研究科建築学専攻
氏 名 浅野 聡

活動テーマ	「伊勢河崎商人館」における展示計画を通じた景観まちづくり活動の推進
実施期間	平成28年7月1日 ～ 平成29年3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容 全体的に実施計画書の通りに活動を実施することが出来ました。 具体的な活動は、以下の通りです。詳細については、報告書を作成済みであり、添付しますのでご覧ください。</p> <p>①伊勢河崎町並み再現模型の作成 表現方法等に関する以下の条件を設定して、勢田川河川改修以前の伊勢河崎の歴史的町並みを再現する模型を作成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再現時期：七夕豪雨のあった昭和49（1974）年以前とする ・再現範囲：伊勢河崎旧環濠地区内とする ・模型縮尺：縮尺1/400とする 等

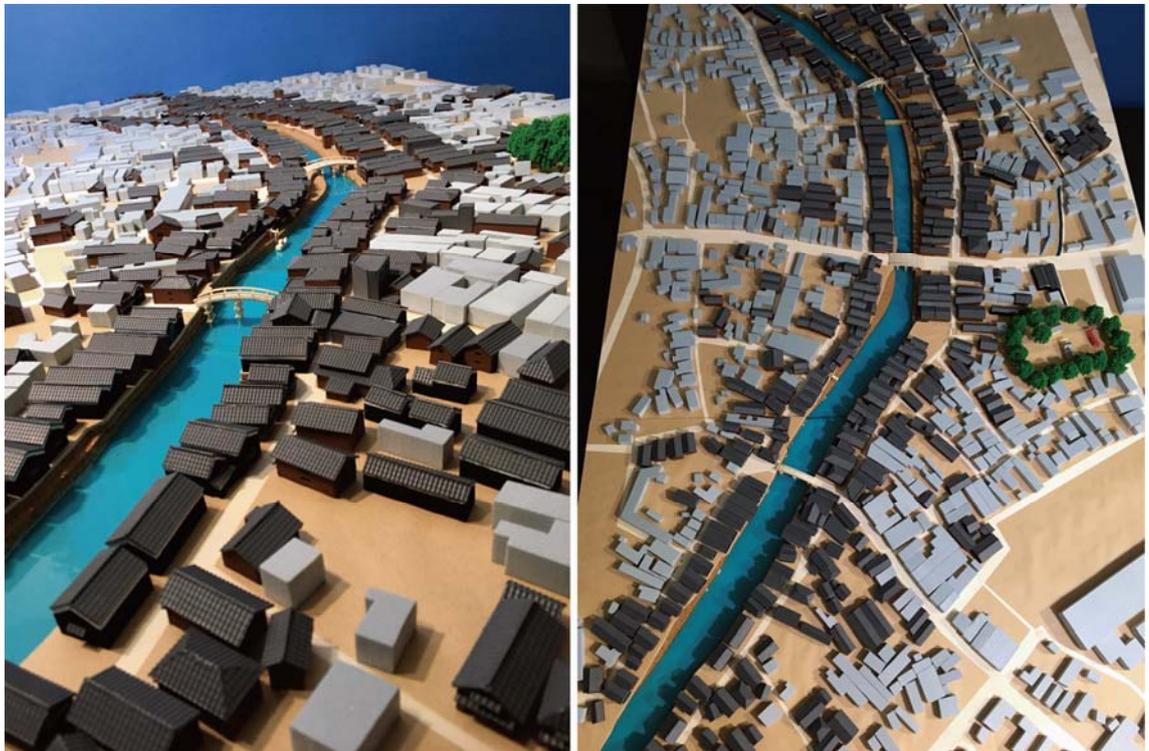


写真 伊勢河崎町並み再現模型

②解説パネル群の作成

伊勢河崎町並み再現模型を紹介する解説パネル群を作成しました。

具体的には、A1・3枚から構成することとし、勢田川河川改修以前の町並みの特徴、河川改修による町並みの変化、模型制作の趣旨、町並み再現模型の見どころ等について解説をしています。

I 伊勢河崎町並み再現模型 一勢田川河川改修前
Historic Kawasaki town model before Setagawa River improvement

一、勢田川河川改修前の伊勢河崎の町並みの特徴 / Characteristics of Kawasaki town before Setagawa River improvement
伊勢河崎の町並みは、勢田川をはじめ、様々な特徴を持つ要素によって構成されています。

二、七夕豪雨による勢田川の河川改修 / Setagawa River improvement by Tanabata Torrestial Rain in 1974
1974 (昭和 49) 年の七夕豪雨による水害は、伊勢市に大きな被害を与えました。その後、この豪雨をきっかけに水害対策として、国によって勢田川の河川改修が行われました。改修工事では、左岸には管理道路を新設しましたが、町屋や蔵が壊されることはありませんでした。しかし、右岸は川幅の拡張を行ったことにより、一部の町屋や蔵などが数多く立ち退くことになりました。改修工事による町並みの変化については次のパネルをご覧ください。

II 伊勢河崎町並み再現模型 一勢田川河川改修前
Historic Kawasaki town model before Setagawa River improvement

三、河川改修による伊勢河崎の町並みの変化 / Changes in the landscape of Kawasaki town before Setagawa River improvement
七夕豪雨後の河川改修により、伊勢河崎の町並みにおいて変化した主要な要素は以下の通りです。これらの変化によってそれまでの「水と生活との密接な関係」が失われることになりました。

石岸の歴史町 町並みの消失 / 石岸に 管理道路の新設 / 橋の架け替え / 貯蔵き蔵の消失 / 稲道の縮小化

河川改修前 (Before) / 河川改修後 (After)

III 伊勢河崎町並み再現模型 一勢田川河川改修前
Historic Kawasaki town model before Setagawa River improvement

四、模型制作の趣旨 / Purpose of this model making
この「伊勢河崎町並み再現模型」は、かつての「水と生活との密接な関係」が色濃く残っていた改修前の勢田川や連続する切妻屋根の町屋、蔵、世舎、隠家等から構成される特徴的な伊勢河崎の町並みを再現しています。この模型制作を通じて、伊勢河崎の記憶を風化させないと共に、将来のまちづくりに活かすことを趣旨としています。

【模型制作の基本条件】

- ①再現年代 一 勢田川河川改修以前 1964(昭和39)年～1971(昭和46)年
- ②再現範囲 一 河崎旧環濠地区全体
- ③縮尺 一 1/400

五、伊勢河崎町並み再現模型の見どころ / View points of Historic Kawasaki town model before Setagawa River improvement

- 1. 勢田川 (Setagawa River)**
伊勢河崎の生活に欠かせない存在で、かつては船の漕ぎ出し場や舟着き場、神宮の境内の賑わいをもたらす重要な水辺空間であった。
- 2. 本通り (Honmichi)**
伊勢河崎の生活用水に用いられていた本通りは、この地区の目録通りであり、歴史的な歴史を伝える重要な役割を果たしてきました。
- 3. 河崎七草神社 (Kawasaki Shichirusa Shrine)**
「河崎七草(中橋)」を中心に、その近所に北新橋、南新橋、河崎七草神社と呼ばれる土地柄が広がっています。
- 4. 河崎七草神社 (Kawasaki Shichirusa Shrine)**
神社は境内が勢田川であり、古くから「天宮」として知られ、中でも毎年7月の七夕祭りは多くの人で賑わいます。
- 5. 伊勢河崎八景 (Ise River Eight Views)**
河崎を代表する景観(2001年平成13)年に国の重要文化財に指定)として、約600坪の敷地に河崎、河崎の景観を再現しています。
- 6. 歴史的建築物 (Historical Buildings)**
町屋や川沿いに多く建つ蔵は、切妻入り屋敷や出陣子等の特徴的な景観を持っています。これらもまた伊勢河崎の歴史を伝えています。
- 7. 貯蔵き蔵 (Storage Warehouse)**
伊勢では、稲穂のことを貯蔵き蔵と呼び、生活の糧として貯蔵する重要な役割を果たしています。この貯蔵き蔵は、伊勢河崎の歴史を伝える重要な役割を果たしています。
- 8. 稲道 (Ina Michi)**
河崎の成立時に防備用として掘り開かれた稲道は、今もなお多くの人が利用しています。稲道は、伊勢河崎の歴史を伝える重要な役割を果たしています。
- 9. 舟着き場 (Boat Landing)**
舟屋を運んだ船を上げ、川から家へ運送物の出入りをする重要な空間となし、住民の手によって賑わいに繋がっていました。

2017年2月吉日 制作 三重大学大学院工学研究科 遠野研究室

図 伊勢河崎町並み再現模型解説パネル群

③町並み再現模型と解説パネル群の展示

共同実施者である NPO 法人伊勢河崎まちづくり衆の協力を得て、作成した町並み再現模型と解説パネル群を現地に搬入し、伊勢河崎商人館において展示を行いました。展示は常設展示としています。



写真 伊勢河崎商人館における展示の様子

④伊勢河崎「新・蔵くら談義ⅩⅢ」における発表

平成29年2月5日に開催された伊勢河崎商人館における公開シンポジウム（伊勢河崎「蔵くら談義ⅩⅢ」）において、参加した地元関係者、伊勢河崎まちづくり衆等に対して、作成した町並み再現模型と解説パネル群について発表しました。おかげさまで参加者からは高い評価を受け、多くの方に関心を持って頂くことが出来ました。



写真 伊勢河崎「新・蔵くら談義ⅩⅢ」の様子

(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり）

現在、伊勢河崎地区は、伊勢市景観計画にもとづいて歴史的町並みを保全するために重点地区に指定する方向で、伊勢市と地元関係者の間で協議が進んでいる最中です。今回の地域貢献活動を通じて、来年度に予定している重点地区指定に向けて、伊勢市の担当者と地元関係者が伊勢河崎の町並みの歴史的・文化的価値について改めて理解し、今後、町並み保全活動を推進する上で、町並み再現模型と解説展示パネル群は、大いに役立つと思われます。

(3) 共同実施者との連携状況

共同実施者であるNPO法人伊勢河崎まちづくり衆とは、現地における町並み調査の実施、町並み再現模型と解説パネル群の内容の検討、展示、公開シンポジウムの開催に至るまで、十分に連携することが出来ました。成果物については、まちづくり衆からも高い評価を受け、大変に感謝をしています。

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

今回のプロジェクトは、浅野研究室の大学院博士前期課程1年生の上田拓也、

高田直紀の両君に中心的に取り組んでもらい、模型制作には4年生も参加しました。大学院生にとっては、町並み調査から模型作成の検討と作成、報告書の編集に至るまで、都市デザインや景観デザインについて実践的に研究する有意義な演習課題になったと思われます。この春の建設コンサルタンツ会社の就職面接時に、このプロジェクトをポートフォリオ（作品集・業績集）の中に取り込んで説明した際に、研究面と社会貢献面の両方で面接者から高い評価を受けたとのことでした。（おかげさまで本人は内定通知を頂きました。）

（５）イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）

前述の通り、今回のプロジェクトの発表の場として、以下の展示会と公開シンポジウムを開催し、おかげさまで盛況となりました。

名 称：展示会 伊勢河崎・歴史的町屋リノベーションモデル事業 2016

日 時：平成 29 年 2 月 2 日（木）～ 2 月 6 日（月）

実施場所：伊勢河崎商人館角吾座（国登録有形文化財）

名 称：伊勢河崎「新・蔵くら談義ⅩⅢ」-空き家×まちづくりフォーラム-

日 時：平成 29 年 2 月 5 日（日）

実施場所：伊勢河崎商人館角吾座（国登録有形文化財）

参加人数：約 60 名

（６）これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

これまでの取組みによって得られた具体的な成果としては、以下の通りです。

①伊勢河崎商人館の入館者に対する伊勢河崎地区の歴史・文化・景観に対するガイダンス効果が生まれていること

②特に 1970 年代の勢田川河川改修以前のかつての歴史的町並みを模型として再現することにより、勢田川、本通り、河崎三橋、河辺七種神社、伊勢河崎商人館（旧小川酒店）、歴史的建築物（町屋・蔵）、世古、環濠、船着き場といった河崎地区の景観を特徴づける歴史的要素について、直接理解できること

③地元のまちづくり検討会や公開シンポジウムの場で、まちづくりを検討する資料として有効に活用され始めたこと

④以上の成果を通じて、現在、伊勢市と地元関係者で協議中の重点地区指定の際の地元合意（意思決定）への後押しとなることが期待されること